

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 条 件		
修学基礎教育課程 修学基礎科目 修学基礎		修学基礎 Basic Style for Study II		1	0002-01	2期(秋期)	修学規程第5条別表第2を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	KITポートフォリオ	金沢工業大学の学生として求められる、学習や生活に取り組む態度と方法を体験することにより、自己管理能力と日本語表現力の重要性を認識し、自己実現に向かって、積極的かつ実践的な行動に取り組むことができる。 本学が推進するKITポートフォリオシステムを活用し、修学・生活スタイルを実行するための基礎的な習慣を身につけることができる。							
2	自学自習								
3	日本語表現力								
4	小論文コンテスト								
5	研究室訪問								
授業の概要および学習上の助言									
<p>1. 自己管理能力を身につけるために毎週「1週間の行動履歴」を記録し、学期末に「2期の達成度自己評価」を作成して、ともにKITポートフォリオ(Web上)に入力する。</p> <p>2. 2期以降に始まる専門基礎科目を踏まえ、教務部長講話によって学習目標と自学自習の確立の重要性を再認識する。</p> <p>3. 「小論文コンテスト」の応募論文を作成する。草稿はライティングセンターにおいて添削後返却する。</p> <p>5. 工大祭のときに、自己の所属する学部・学系・学科の研究室を訪問し、専攻選択について考える。その結果を、個人やグループで検討し、口頭や文章で報告する。学科によっては研究室概要の事前説明会を開催する場合がある(別途案内)。</p> <p>6. 担当教員独自の多様な自由講義演習を実施する。</p> <p>出席・提出物の締切を守ることは特に厳しく評価する。 科目のホームページを頻繁に見ること。http://edu1.kanazawa-it.ac.jp/shugaku/</p>									
教科書および参考書									
教科書：修学基礎2007[金沢工業大学出版]									
履修に必要な予備知識や技能									
<p>1. 「KIT IDEALS」を理解し実践する意志</p> <p>2. 「学生宣言」を理解し実践する意志</p> <p>3. 金沢工業大学「人間力」を身に付ける意志</p> <p>4. 日本語表現力</p> <p>5. レポートの書式設定</p>									
学生が達成すべき行動目標									
	学科教育目標 (記号表記)								
	A	「1週間単位の行動履歴」の作成を通して自己管理能力を高め、次学期での対応を文章で報告することができる。							
	A	講話の内容を整理し、それに対する自己の見解を文章で作成することができる。							
	A	研究室を訪問して専攻選択の動機付けを行い、将来への展望を文章で報告することができる。							
	A	グループ討議を通して問題点を見出し、自己の見解を口頭および文章で説明することができる。							
	A	規則正しい生活を行い、授業には欠かさず出席し、提出物の締切を守るなど、積極的に学ぶ姿勢を確立できる。							
	A	本科目における「学生の達成すべき行動目標」の達成度について自己評価できる。							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポートフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	35	10	0	35	20	100
総合力 指標	知識を取り込む力	0	0	20	0	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	0	15	0	0	0	0	15
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	5	0	0	0	5
	発表・表現・伝達する力	0	0	0	5	0	0	0	5
	学習に取り組む姿勢・意欲	0	0	0	0	0	35	20	55

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		課題（夏期課題）：「小論文コンテスト草稿」 5点 課題 「小論文コンテスト完成原稿」 10点 課題 「教務部長講話聴講レポート」 10点 課題 「研究室訪問レポート」 10点
成果発表 (口頭・実技)		課題 「グループ討議メモ」 5点 研究室訪問のグループ発表 5点
作品		
ポートフォリオ		課題（夏期課題）夏期休業中の「1週間の行動履歴」5点 「1週間の行動履歴」2点×10回 教室での授業毎に提出 課題 「2期の達成度自己評価」 10点
その他		定刻出席 2点×10回 遅刻1点減点（10分まで） 多目的ホールでの講義の遅刻者・欠席者は後日ビデオ視聴

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>「1週間の行動履歴」を記録し、自省することによって、次週への目標を明確に記すことができる。</p> <p>講話を聴きながら要点を整理し、後に自分の意見と照らしあわせながら講話の内容をまとめることができる。</p> <p>所属学部・学系の研究室を訪問し、将来の目標や目的と対比し、学習の方向性を明確に述べ、まとめて記すことができる。</p> <p>自分の意見を他者の意見と対比させながら明確に述べ、まとめて記すことができる。</p> <p>授業に欠かさず出席し、提出物の期限を守るなど、学習に対する積極的な態度が身に付いている。</p> <p>本科目における「学生が達成すべき行動目標」の達成度を自己評価し、明確に記すことができる。</p>	<p>「1週間の行動履歴」を記録することができる。</p> <p>講話の内容を簡条書きでまとめることができる。</p> <p>所属学部・学系の研究室を訪問し、その研究内容をまとめると共に、自己の専攻選択に関する希望を記すことができる。</p> <p>他者の意見を聞いてまとめることができる。</p> <p>授業に出席し、提出物の期限を守るなどの学習態度が身に付いている。</p> <p>本科目における学生が達成すべき行動目標」の達成度を自己評価し、記すことができる。</p>

授業明細表

回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題 予習・復習 時間(分)
1回	<p>教務部長講話(佐藤恵一教授) 「秋学期からの修学姿勢について」を聴講し、修学への自覚を新たにする。 【持参物】 キャンパスノート、カリキュラムガイドブック、筆記用具</p>	<p>多目的ホールにおいて講話を聴講し、メモをとる。 遅刻者の入場は認めず、欠席者とともに後日のビデオ視聴とする。</p>	<p>課題 「教務部長講話聴講レポート」(聴講メモ添付)を所定のフォーマットで作成して2回目の講義日に提出する。 「1週間の行動履歴」を作成する。 【夏期課題】 課題 夏休み中の「1週間の行動履歴」は秋学期オリエンテーション時に提出 課題 「小論文コンテスト草稿」は秋学期オリエンテーション時に提出。但し、再履修クラス学生は草稿を第3回目の授業日に担当教員へ提出すること。なお課題の完成原稿はライティングセンターの添削を参考にして、教員の指定する日までに提出。 以上夏期課題2点については、(春学期自己点検授業、HPにて指示済み)</p> <p>90 30</p>
2回	<p>担当教員による自由講義・演習 【持参物】 教員の指示するもの</p>	<p>所属教室での講義・演習 【提出物】 課題 「教務部長講話聴講レポート」(聴講メモ添付) 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>30</p>
3回	<p>担当教員による自由講義・演習 【持参物】 教員の指示するもの</p>	<p>所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>30</p>
4回	<p>研究室訪問の説明および事前準備 研究室訪問の説明を聴き、所属学部・学系・学科の専門性に触れる。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル 木・金曜日開講クラスは、8回目「担当教員による自由講義・演習」を行うので担当教員の指示に従うこと</p>	<p>所属教室での講義・演習 「研究室訪問カード」はHPからダウンロードする。 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>課題 「研究室訪問レポート」(研究室訪問カード添付)、(各2部作成し、1部を工大祭終了後最初の授業時間に提出する。残り1部は授業でのグループ討議用) 課外活動:工大祭研究室公開日に研究室訪問を行う(詳細は別途支持)。 「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>90 120 30</p>
5回	<p>研究室訪問の事前準備 研究室のHPや「入学案内」などから、訪問予定の研究室の情報を収集整理する。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル 木・金曜日開講クラスは4回目「研究室訪問の説明および事前準備」を行うので担当教員の指示に従うこと。</p>	<p>所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>予習:研究室訪問の情報収集整理 「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>60 30</p>
6回	<p>研究室訪問を終えてのグループ討議 研究室訪問についてグループ討議を行い、将来の専攻分野に対する動機付けを行う。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル、各研究室のHP資料、訪問した研究室の配付資料、 木・金曜日開講クラスは、5回目「研究室訪問の事前準備」を行うので担当教員の指示に従うこと。</p>	<p>所属教室での演習 次回グループごとに発表するので、全員で意見報告書や発表資料の作成などを準備する。 【提出物】 課題 研究室訪問レポート(提出用)・研究室訪問カード 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>課題 ライティングセンター添削の「小論文コンテスト」完成原稿:教員の指示する日までに提出。 研究室訪問発表準備のグループ活動を行い、課題「グループ討議メモ用紙」を作成する。 「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>120 120 30</p>
7回	<p>研究室訪問を終えてのグループ発表・討論 「研究室訪問の発表討論を行い、将来の専攻分野に対する動機付けを行う。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル 木・金曜日開講クラスは、6回目「研究室訪問を終えてのグループ討議」を行うので担当教員の指示に従うこと。</p>	<p>所属教室での演習 発表はOHPまたはパワーポイントを使用、5分間×7グループ、 【提出物】 課題 「グループ討議メモ用紙」 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>30</p>
8回	<p>担当教員による自由講義・演習 【持参物】 教員の指示するもの 木・金曜日開講クラスは、7回目「研究室訪問を終</p>	<p>所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」</p>	<p>「1週間の行動履歴」を作成する。</p> <p>30</p>

授業明細表

回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題 予習・復習	時間(分)
	えでのグループ発表・討論」を行うので担当教員の指示に従うこと。			
9回	担当教員による自由講義・演習 【持参物】 教員の指示するもの	所属教室での講義・演習 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	課題 「2期の達成度自己評価」をプリントアウトして、担当教員の指定する日までに提出する。 「1週間の行動履歴」を作成する。	90 30
10回	学習の進捗調整のための予備授業時間	担当教員の指示に従う。	「1週間の行動履歴」を作成する。 授業アンケート回答開始	30
11回	自己点検授業 出席とレポートの提出状況を確認し、各種レポートの返却を受ける。 授業アンケートを作成する。 冬学期の日程を確認する。 【持参物】 ノートパソコン、ランケーブル(授業アンケート未回答者)	所属教室での講義 不合格が予想される学生の個別指導を行う。 【提出物】 前週までの「1週間の行動履歴」	秋臨時休業期間中も「1週間の行動履歴」を作成する。	30